

V. 海外学会等参加の概要

第27回世界道路会議 (PIARC：プラハ大会)

27th World Road Congress in Prague, 2023

村上悠馬¹ 西村 巧² 粕谷ひろみ¹ 萩原 剛³

Yuma MURAKAMI, Takumi NISHIMURA, Hiromi KASUYA, and Go HAGIHARA

1 はじめに

世界道路協会 (WRA: World Road Association, 通称PIARC: Permanent International Association of Road Congress) は、道路の建設、改良、維持、利用の促進や世界全体の道路技術・道路交通政策の向上を目的として1909年に設立された国際機関である。世界道路協会では4年に1度、世界道路会議を開催しており、世界各国の道路関係者が一同に会し、新しい知識・技術の紹介や各国が抱える課題について意見交換等を行っている。

第27回世界道路会議は、2023年10月2日から6日にかけてチェコ共和国・プラハで開催された。本会議は、“TOGETHER ON THE ROAD AGAIN” をテーマとして、120カ国から約6千人が参加し、大臣セッションをはじめとする多様なセッションが開催された。

2 大臣セッション

開催初日には、各国からの大臣等35名が参加する大臣セッションが開催された。「交通安全」、「自転車」の2つのセッションに分かれて、各国の取り組み状況の共有と意見交換がなされた。



写真－1 大臣セッション参加者

3 技術展示会

技術展示会では、35の国・地域と約100の企業・団体が展示を行った。日本は“Road for the future – Reconnect-”のテーマの下、官民合わせて38の企業・団体が出展を行った。パビリオンではデジタルリーフレットやVR機器等を用いた最先端の多彩なコンテンツが展示され、多くの来場者で終日盛況であった。



写真－2 日本パビリオン

4 おわりに

本会議では2020～2023年の活動成果が報告されたが、個人的にはEVやコネクテッドカーの普及を踏まえた道路インフラの進化について最新の情報に触れることができ、大変興味深かった。2024年からは新たな4年間の調査研究が始まっており、自動運転、カーボンニュートラルなど世界的に関心の高いトピックスの技術委員会も新設されている。新たなタームのさらなる成果に期待したい。

参考文献

1) PIARC プラハ大会ウェブサイト

<https://proceedings-prague2023.piarc.org/en/>

¹ 交通・社会経済部門 研究員 ² 交通・社会経済部門 主幹研究員兼グループマネージャー

³ 交通・社会経済部門 グループマネージャー 博士 (工学)